

# 令和7年3月市議会定例会記者会見 市長あいさつ

日 時：令和7年2月25日（火） 午後1時30分

場 所：市役所ホール棟2階 大会議室

本日は、御多用中にもかかわらず、御出席をいただき厚く御礼申し上げます。

また、皆様には、喜多方市政に対しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

はじめに、本日は、3月市議会定例会に提案を予定しております議案の概要について、御説明申し上げますが、その前に、令和7年度の市政運営にあたっての考え方について申し上げたいと存じます。

本年は、私が市政を預かり8年目、任期最終の年度となりますが、私は就任以来、オール市民でのまちづくりを基本としながら、市民一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾け、本市を取り巻く様々な課題に正面から向き合ってきました。

この間、子育て世帯向け定住促進住宅や、ひとづくり・交流拠点複合施設の整備をはじめ、基幹産業である農業・商工業・観光の振興、人口減少対策、子育て世帯への各種支援、激甚化する自然災害対策の充実強化、新型コロナウイルス感染症対策さらには、物価高騰対策などに取り組んでまいりました。

引き続き、「夢と希望の持てるふるさと喜多方」、「将来へ憂いを残さない喜多方」を目指して、誠心誠意、全身全霊で取り組んでまいる決意であります。

さて、本市を取り巻く社会経済情勢は、世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子化が進行しており、急激なデジタル化の進展や地球規模で深刻化する環境問題、長引く物価高騰など、大きな時代の転換期にあります。本市におきましても、特に若い世代の人口減少が顕著となっており、こうした状況が続くことで、労働力人口や消費市場の縮小など、地域社会に深刻な影響を及ぼすことが懸念されています。

このような中、本市を取り巻く環境におきましては、人口減少・少子化の進行、コロナ禍やウクライナ情勢、円安を背景とした原油価格・物価の高騰、気候変動に伴う災害の頻発化・激甚化、デジタル社会の急速な進展など、大きく変動しております。

特に市政の最重要課題としては、人口減少問題であると認識しており、人口減少は、社会経済や市民生活への多岐にわたる深刻な影響が懸念されていることから、令和6年

度におきましては、関連するあらゆる分野において、施策や事務事業の大幅な充実と強化に取り組んでまいりました。

今後も、人口減少問題への強い危機感を持ち、結婚・出産・子育て支援による自然増と、若者の定着・流入の促進などによる社会増の取組を柱としながら人口減少を緩和し、未来の子どもたちによりよい地域を引き継いでいくことが我々の責務と考えております。

私は、「真の公平さの追求」、「地域力を最大限に生かす」、「国・県等との連携を広げる」の3つを、市政運営の基本理念とし、市民の皆様が安全に、安心して暮らせるふるさとづくりを一層推進するとともに、企業誘致や産業振興による雇用の確保、子育て支援や定住促進などの人口減少対策を含め、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めてまいります。

これらの政策を実行するためには、安定した財政基盤が必要となりますが、これまで世界的パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症、令和4年8月発生の過去に例を見ない豪雨災害に対して、迅速に対応し、これらの事態をようやく乗り越えたところではありますが、眼下の財政状況は厳しい状況下にあります。

引き続き、行財政改革に取り組むとともに、このすばらしいふるさと喜多方を将来世代に憂いなく引き継ぐべく、持続的な自治体運営を目指し、財政健全化に向けた取組を令和7年度から9年度の3ヵ年度において集中的、計画的に断行してまいり所存であり、その取組につきましては、後ほど御説明したいと存じます。

さらに、政策の実現に向けては、私自身が、市民の皆様一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾け、市政に反映させること、そして、市民並びに議会、各種団体、企業の皆様と行政が、ともに知恵を出し合いながら、それぞれの立場や役割の下に行動することが大切であります。これからの市政には、まさに「オール市民でのまちづくり」が求められてくるものと考えております。

また、市政運営の基本方針といたしましては、「喜多方市総合計画」を政策の軸に据え、複雑・多様化する市民ニーズをしっかりと見極め、地域の課題に対して一つひとつ丁寧に対応しながら、将来への憂いを残すことのないよう、行財政運営に努めてまいります。

それでは、3月市議会定例会に提案を予定しております議案の概要について、御説明申し上げます。

今回、提案予定の議案等の件数につきましては、議案書の目次のとおり、「令和7年度喜多方市一般会計予算」議案など、40件であります。

はじめに、「議案第2号 令和7年度喜多方市一般会計予算」の概要について申し上げます。

令和7年度当初予算につきましては、歳入におきまして、個人市民税及び固定資産税は増収、法人市民税は減収を見込んでおります。

各交付金においては、地方消費税交付金及び環境性能割交付金について、交付実績及び国、県の交付見込から増額を見込み、交付金全体としても増額を見込んでおります。

また、歳出におきましては、予算編成方針に基づき、事業の重点化・選別化を図り、最少の経費で最大の効果を得ることを念頭に置き、喜多方市総合計画に基づく諸施策及び新市建設計画に掲げる各事業の着実な推進を図るために要する経費を計上するとともに、住民福祉の向上に不可欠な経費の確保に努め編成を行いました。

さらに、安定的かつ持続可能な財政運営に向けた財政構造の構築を図る観点から、「喜多方市財政の健全化に向けた取組について」に基づき、更なる歳入確保と歳出削減を図ったところであります。

その結果、令和7年度の一般会計予算の総額は266億2,700万円となり、令和6年度当初予算と比較いたしますと8,100万円の増額となっております。

次に、令和7年度において重点的に取り組む施策の概要について、総合計画の大綱に沿って申し上げます。

はじめに、大綱1「地域の特性を生かした力強い産業づくり」についてであります。人口定住に結びつく持続可能な経済活動の実現に向け、基幹産業である農業の振興や林業の再生、企業誘致やものづくり産業の更なる発展、地域資源を活用した魅力ある観光の推進や街なかの賑わい創出などにより、新しい産業や雇用の確保、所得の向上を図ってまいります。

令和7年度は、主な新規事業として、街なかの賑わいを創出のための「事業継承支援事業」をはじめ、本市のそばを振興していくにあたり、パンフレットやSNS等による効果的な情報発信、文化庁の100年フードに認定されている喜多方ラーメン、山都そばや塩川鳥モツのほか、食文化ミュージアムに認定された飯豊とそばの里センターの認知度向上、また、令和8年春の「ふくしまデスティネーションキャンペーン」に先立ち、本年4月から6月までに開催される「ふくしまプレデスティネーションキャンペーン」

に向け、選ばれる観光地となるよう各地区の特性を生かした様々な観光資源のより一層の磨き上げと観光需要の喚起を図り、市内経済の活性化を促進し、近隣市町村等と連携しながら、本市ならではの企画や情報発信を行い、観光誘客に取り組んでまいります。

次に、大綱2「地域を支え未来を拓く人づくり」についてであります。 「まちづくりは人づくり」の理念のもと、次代を担う子どもたちのため、良質な教育環境を整備するとともに、市民一人ひとりが、郷土の偉人や歴史、文化に学び、心豊かで充実した人生を送っていただけるよう、学習機会の提供や主体的に活動できる環境整備を図りながら、生涯にわたりふるさとに愛着と誇りをもって様々な分野で活躍する、本市の未来を支える人材の育成を目指してまいります。

令和7年度は、主な新規事業として、「小・中学校キャリア教育推進事業（起業家体験事業）」により、児童生徒の起業家精神の醸成を図るため、市内飲食店と協力して本市特産品を使用した弁当の開発・販売を行うことで、学びを支える教育環境の取組を進めてまいります。

次に、大綱3「安全・安心、思いやりのある、人にやさしいまち・くらしづくり」についてであります。保健、医療、介護、福祉の充実と連携、災害等への備えの強化など、日々のくらしにおける安全を確保し、若い世代が安心して子どもを産み育てることができる環境や、高齢者が元気に生きがいをもってくらしらせる環境づくりを推進するとともに、生活や産業などを支える社会基盤の維持・充実により、だれもが快適に生活しやすいまちづくりを進めてまいります。

令和7年度は、主な新規事業として、「妊婦のための支援給付交付金事業」「妊婦等包括相談支援事業」など、妊娠期から子育て期における切れ目のない総合的相談を実施し、安心して出産・子育てができるよう更なる支援体制に取り組んでまいります。

次に、大綱4「自然との共生と元気なふるさとづくり」についてであります。市民が主体的に行うまちづくりや市民活動を支援し、地域間の連携・交流や、大学、企業等との協力・提携、移住者の受入れなどにより、魅力的で持続可能なまちづくりを推進するとともに、生活環境や自然環境、地球環境へ配慮した取り組みを進めるなど、自然との共生を図りながら、市民と行政との協働による活力あふれるまちづくりを進めてまい

ります。

次に、総合計画の実現に向けた取組といたしましては、計画に掲げる諸施策を確実に実行し、将来の都市像に向けて着実な進展を図るためには、持続可能な行財政運営が必要となってまいります。その基盤となる「活力ある市役所づくり」を進めるため、ワーク・ライフ・バランスの下、職員の挑戦する意識・意欲を醸成するとともに、政策形成能力及び課題解決能力の向上等を図るため、引き続き、国や県等へ職員を派遣してまいります。

また、社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応できる効率的な組織体制の確立や人材育成の推進、全庁的な連携により、情報の透明化・共有化を図るとともに、部局間及び本庁と総合支所間の緊密な連携を図りながら、行政運営を行ってまいります。

さらに、「DX推進基本計画」に基づき、行政手続のオンライン化やAI等のデジタル技術の活用を促進し、市民の皆様の利便性向上と行政サービスの効率化を図ってまいります。

また、本市のブランドイメージや認知度を高め、交流人口・関係人口等の増加につなげるため、SNSや地域資源を活用した効果的なシティプロモーションに取り組み、本市の魅力を発信してまいります。

次に、各総合支所において実施する地域の発展に向けた事業として、地域資源の再発見と観光資源の保全・PR、各種イベントの更なる磨き上げなどによる魅力ある地域づくりや、防災体制の強化による災害に強いまちづくりなど、それぞれの地域課題の解決に資する取組を進めてまいります。

引き続き、<sup>ふる</sup>故きを<sup>たず</sup>温ね<sup>あた</sup>る<sup>つ</sup>くる新しきを創る「温故創新」の精神の下、先人の努力から学び、知恵を出し合い、歴史や文化、豊富な地域資源を生かした柔軟な取組に挑戦しながら、子どもからお年寄りまで、全ての市民が「生まれてよかった」「住んでよかった」と思えるような「ふるさと喜多方」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

次に、議案第14号 令和6年度喜多方市一般会計補正予算（第11号）につきましては、歳入歳出とも4億8,680万円の減額補正で、累計におきまして291億7,143万3千円と相なります。

今回補正の主なものについて申し上げます。

はじめに、農林水産業費につきましては、土地改良経費におきまして、県営土地改良事業負担金246万6千円を追加計上いたしました。

次に、教育費につきましては、小学校管理経費におきまして、小学校空調設備改修工事・LED照明等改修工事に要する経費1億500万円及び中学校管理経費におきまして、中学校空調設備改修工事・体育館LED照明等改修工事に要する経費1億6,000万円を計上いたしました。

歳入におきましては、主なものとして、諸収入6,823万1千円を追加計上するとともに、地方譲与税2,181万4千円、国庫支出金1億5,045万7千円、県支出金5,458万4千円及び繰入金3億2,957万3千円を減額計上いたしました。

また、年度内に支出が終わらない見込みの事業費について、繰越明許費予算を計上いたしました。

次に、条例議案についてであります。「議案第25号 喜多方市まち・ひと・しごと創生基金条例を廃止する条例」など、16件であります。

次に、単行議案についてであります。「議案第41号 権利の放棄について」の1件であります。

続きまして、財政健全化に向けた取組について、御説明申し上げます。

これまで、総合計画等に基づく各種施策を着実に推進し、国の少子化対策・こども政策やDX、カーボンニュートラルの推進の取組など、多様化・複雑化する行政課題に対応するとともに、学校給食費負担軽減などの子育て支援、産業の振興等を図りながら、若者が定住し、安心して生み育て、働くことができる喜多方の実現のための様々な施策を進めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症、エネルギー価格・物価高騰、令和4年8月に発生した過去に例を見ない豪雨災害に対する迅速な対応、さらに令和6年度においては、近年まれにみる今冬の豪雪災害、人件費・物件費の高騰による職員人件費、扶助費などの経常的支出の大幅な増加への対応等により、平成29年度に約32億円あった財政調整基金残高は大幅に減少する見込みであり、新たな行政需要や不測の事態への機動的な対応に苦慮する厳しい財政状況にあります。

このため、コロナ禍や豪雨災害等を乗り越えた今、令和8年1月には新喜多方市とな

って20年の新しい時代を迎えるにあたり、このすばらしい「ふるさと喜多方」を将来世代に憂いなく引き継ぐべく、持続的な自治体運営を目指し、財政健全化に向けた取組を集中的、計画的に断行してまいり所存であります。

健全化に向けた取組につきましては、令和7年度から9年度の3ヵ年度を集中取組期間とし、「歳入の確保」、「総人件費の抑制」、「公共施設の在り方の見直し」、「事業全般の見直し」、「各種補助金の見直し」、これら5つの視点に基づく「財政健全化プラン(仮称)」の策定・実施により、行政改革の観点も踏まえ、内部管理経費の徹底した削減はもとより、全ての事務事業の精査・見直し等を進めてまいります。

市民の皆様が等しく受益する行政サービスは確保しつつも、全ての事務事業の精査・見直しについて、私が先頭に立って実行し、この難局を市民の皆様とともに乗り越えてまいりたいと存じます。

市民の皆様におかれましては、メッセージ文に記しましたとおり、厳しい財政状況を乗り越え、活力満ちる喜多方市の未来のために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上、提出議案の概要及び、財政健全化に向けた取組について、御説明申し上げましたが、詳細につきましては、担当部長等より説明いたさせますので、よろしくお願い申し上げます。